平成１９年度調査研究「教科等で考える異校種間の連携の工夫」

１　研究の趣旨

子どもたちに「確かな学力」を身に付けさせるためには、小・中・高等学校の 12 年間を見通した系統的な指導方法を確立することが重要である。

そこで、本調査研究では、教科等における異校種間の連携の望ましい在り方を探るため、教科ごとに研究協力委員相互の授業参観を実施し、それに基づいて、今後の教育活動の改善に役立つ事例提案を行うこととした。

２　研究の内容

(1)　各校種の授業参観を通して連携の在り方を探る

(2)　小中高の連携についての事例提案

３　研究の方法

研究事業の実施期間は平成１９・２０年度の２か年とし、下記教科において、研究協力委員小･中･高等学校６名（各２名）を委嘱し、所員と協力して調査研究を行う。

○　平成 19 年度実施教科（４教科＋道徳）

国語、社会、地歴・公民、技術・情報、外国語、道徳

○　平成 20 年度実施教科（５教科＋総合的な学習の時間）

算数・数学、理科、音楽、図画・工作・美術、家庭、総合的な学習の時間

４　研究計画

〈平成１９年度〉

回	開催時期	内　　容
第１回	５／30（水）	・委嘱状交付 ・全体会（趣旨説明） ・講義「小中高の系統的指導法の在り方」 －確かな学力をはぐくむために－ 総合教育センター指導主事　宮坂郡一 ・教科別会議（研究内容及び方向性の確認、日程等確認）
第２回	６月	・授業参観及び研究協議
第３回	９月	・授業参観及び研究協議
第４回	10 月 ～ 11 月	・授業参観及び研究協議 ・指導案の検討
第５回	12 月	・研究のまとめ、報告書の分担、作成
	１月	・報告書の完成
	３月	・報告書のセンターＨＰ掲載

５　研究協力委員

教　科	学　　校　　名	職名	氏　　名	担当所員
国　語	戸田市立笹目小学校	教諭	鈴木　美穂	宮坂　郡一 西浦　大治郎
	上尾市立大石南小学校	教諭	児玉　美和	
	和光市立大和中学校	教諭	甘樂　裕貴	
	新座市立第六中学校	教諭	進藤　彩恵	
	川口市立県陽高等学校	教諭	森田　恭章	
	県立川口高等学校	教諭	浦山　隆史	
社会･地歴･公民	鴻巣市立鴻巣東小学校	教諭	伊藤　誠	吉澤　達也 浅川　俊夫
	行田市立西小学校	教諭	橋上　威	
	鴻巣市立鴻巣中学校	教諭	田島　敏	
	行田市立長野中学校	教諭	佐藤　元治	
	県立羽生高等学校	教諭	坂井　修義	
	県立菖蒲高等学校	教諭	神山　利和	
技術･情報	深谷市立藤沢小学校	教諭	強瀬　雪乃	瀬山　真一
	深谷市立岡部小学校	教諭	加藤　英俊	
	熊谷市立奈良中学校	教諭	関口　典夫	
	深谷市立岡部中学校	教諭	持田　栄	
	県立本庄高等学校	教諭	松本　英和	
	県立羽生高等学校	教諭	細沼　智之	
外国語	春日部市立南桜井小学校	教諭	田代　佳子	長島　正雄 久住　毅
	越谷市立蒲生小学校	教諭	新坂　一美	
	春日部市立葛飾中学校	教諭	尾堤　直美	
	蓮田市立黒浜中学校	教諭	近辻　孝志	
	県立久喜高等学校	教諭	初谷　奈穂美	
	県立杉戸高等学校	教諭	福田　浩一	
道　徳	杉戸町立高野台小学校	教諭	服部　静子	松本　幸子
	越谷市立大沢小学校	教諭	山田　敦子	
	杉戸町立広島中学校	教諭	田中　智子	
	久喜市立久喜中学校	教諭	内田　十詩哉	
	県立杉戸農業高等学校	教諭	斎藤　英樹	
	県立宮代高等学校	教諭	山崎　康子	